**学習指導案の書式例**

外国語科学習指導案

日　時　令和○年○月○日（　）

同一の指導案で少人数・習熟度別授業を行う際や、ALT等授業補助者が入る場合は授業者や補助者を併記する。

ALT等授業補助者が入る場合も併記する。

対　象　第○学年○組　○名

学校名　○○○立○○中学校

授業者　職　氏名　○○○○

レッスン名等、*教科書名*、（出版社名）

会　場　○階○○教室

１　単元名　Lesson 0 00000000 *0000000000000000*（出版社名）

２　単元の目標

友達の意見等を踏まえた自分の考えや感想を書きまとめるために、野菜の歴史について書かれた英文を読み、読んだことを基に考えたことや感じたことを、英文を引用したり内容に言及したりしながら伝え合うことができる。

単元の目標は一文で示すことを基本とする。

「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料（小学校、中学校）（案）」（国立教育政策研究所　令和元年11月）「第３編　単元ごとの学習評価について（事例）【案】」より

３　関連する学習指導要領における領域別目標

|  |  |
| --- | --- |
| 話すこと[発表] | イ　日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。 |

学習指導要領の各領域のうち、本単元に関連している目標を記入する。

複数の領域を設定してもよい。（本冊子P69「【参考】５つの領域別の目標」を参照）

４　言語材料

　　（ターゲットとする文法事項や語彙、表現等を記入する。）

５　単元の評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ＜知識＞○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○＜技能＞○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ | 　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ | 　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |

それぞれの観点の主旨を踏まえ、「おおむね満足できる」状況を観点別に具体的な生徒の姿として一文で示す。（本冊子P22からを参照）

【（中学校・外国語）評価の観点及びその趣旨】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に取り組む態度 |
| 趣旨 | ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。 | コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。 | 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 |

「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）」

（平成31年３月　文部科学省）より

６　指導観

(1)　単元観

　　 （レッスンで扱われているテーマの概要や重点を置く指導事項、学校行事や他教科等と関連する内容、小学校での指導内容を踏まえた内容等があれば記入する。年間指導の中での位置付けなどを書く。）

(2)　生徒観

（普段の学習の様子や、既習事項の定着状況、学習上の課題等と、それらを踏まえて育成したい生徒の力などについて記入する。）

７　単元の指導計画と評価計画（○時間扱い）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 目標（◆）と主な活動（○） | 評価の観点＜方法＞ |
| １（本時） | ◆…の言い方を理解し、…について伝え合う。（単元の目標を達成するための小目標を立てる。） |
| ○○「５　単元の評価規準」で設定した項目についてどの時間にどのように評価するか（「後日ペーパーテスト」、「行動観察」等）記述する。１時間内に評価できる内容を考え、項目を立てすぎないように留意する。 |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  | ◆ |
| ○○ |  |

単元最後には、面接・スピーチ・エッセイ等のパフォーマンス評価などにより、「言語を用いて何ができるか」という観点から評価を行う。

８　指導に当たって

　（授業形態の工夫や指導方法の工夫、使用するワークシートやICT機器など教材・教具の活用の工夫について書く。）

本時の目標は、「２　単元の目標」に示した単元の目標を実現させるための本時の小目標を考えて記述する。（「７　単元の指導計画と評価計画」の◆と一致）

９　本　時（全○時間中の第○時）

(1)　本時の目標

（本時において生徒にどのような力を身に付けさせるのかを記述する。「～する」、「～することができる」など、生徒の立場で記述する。）

(2)　本時の展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | ○学習内容・学習活動 | 指導上の留意点・配慮事項 | 評価規準（評価方法） |
| 導入○分 | ○生徒の視点で記述する。（「～する。」） | 教師の視点で記述する。（「～させる。」） |  |
| 展開 | ○～をする。・～し、…について××する。目標：「～することができる。」※本時の目標を生徒に伝わりやすい言葉にしてもよい。（対話例を入れる。）T:S:T:Ss: | 【記述の視点】○ターゲットとなる文法・語彙の使用○既習表現の活用○正確さや適切さに関する指導○対話の継続○生徒への支援　　など | 「７　単元の指導計画と評価計画」の評価の観点＜方法＞を更に詳しく記述する。 |
|  |  |  |
|  |  |  |
| まとめ | ○本時の目標に対する振り返りをする。○次時の学習について見通しをもつ。 |  |  |

変容を確認するとともに、生徒の学習改善、次時の指導改善につなげることを意識して記述する。

(3)　板書計画

　Lesson ○　○○○○○○○○○○　　　　　　　　　　　　Tuesday, November 12, (sunny)

（本時の学習の流れが分かるように、内容を整理して計画する。）

（目標）○○できる。

視覚的な掲示を工夫する。

(4)　授業観察の視点

（授業改善に向けて、観察してほしい点や協議してほしい点を記述する。）

例)　○本時が単元の目標を達成する内容となっていたか。

○本時の目標を達成する学習活動になっていたか。

○本時の目標と評価項目、学習内容が一致していたか。

○評価項目・評価方法は適切であったか。

○効果的な発問がされていたか。

○配慮を要する生徒に応じた指導を行っていたか。

○「主体的・対話的で深い学び」の実現が図られていたか。　など

**【参考】５つの領域別の目標**

|  |  |
| --- | --- |
| 聞くこと | ア　はっきりと話されれば，日常的な話題について，必要な情報を聞き取ることができるようにする。イ　はっきりと話されれば，日常的な話題について，話の概要を捉えることができるようにする。ウ　はっきりと話されれば，社会的な話題について，短い説明の要点を捉えることができるようにする。 |
| 読むこと | ア　日常的な話題について，簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。イ　日常的な話題について，簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。ウ　社会的な話題について，簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。 |
| 話すこと［やり取り］ | ア　関心のある事柄について，簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。イ　日常的な話題について，事実や自分の考え，気持ちなどを整理し，簡単な語句や文を用いて伝えたり，相手からの質問に答えたりすることができるようにする。ウ　社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて，考えたことや感じたこと，その理由などを，簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。 |
| 話すこと［発表］ | ア　関心のある事柄について，簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。イ　日常的な話題について，事実や自分の考え，気持ちなどを整理し，簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。ウ　社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて，考えたことや感じたこと，その理由などを，簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。 |
| 書くこと | ア　関心のある事柄について，簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。イ　日常的な話題について，事実や自分の考え，気持ちなどを整理し，簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。ウ　社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて，考えたことや感じたこと，その理由などを，簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。 |

「中学校学習指導要領解説外国語編」（平成29年７月　文部科学省）より抜粋

**学習指導案チェックリスト**

**＜目標に関すること＞**

* 「２　単元の目標」「３　関連する学習指導要領における領域別目標」「７　単元の指導計画と評価計画」「９　本時」に書いた内容は一貫していますか。

（学習指導要領で定められた○○について、「この単元では○○に焦点化して指導する。そのためにこのように単元を計画し、本時では○○を行う。」というつくりになっているか。）

* 単元の目標、本時の目標は英語で表現したり伝え合ったりできるようになる内容を「〜できる」の形で設定していますか。

（文法項目ではなく、その文法を使って英語で表現できるようになることを目標にしているか。）

**＜評価に関すること＞**

* 目標と評価の観点が合っていますか。
* 単元の最後に、その単元で生徒が身に付けた内容（英語で「〜できる」）を評価する計画になっていますか。
* １単位時間に評価する項目が多すぎないですか。

（現実的に時間内に見られる評価にしぼり、「後日ペーパーテストで」「ワークシート」など様々な手段での評価を考慮していくとよい。）

**＜授業の進め方に関すること＞**

* 生徒と目標（ゴール）を共有していますか。
* 対話的な言語活動を取り入れていますか。
* 既習事項を踏まえた指導になっていますか。
* 生徒の発話を予想して活動を考えていますか。
* 生徒の反応や理解度を考えながら、教師の英語での生徒とのやり取りを考えてありますか。
* 目的に対応した振り返りを行っていますか。